



# 担い手通信



JA bank Mic

Topic

今月の話題

## 農薬散布用ドローン 安定感優れ折り畳みも 世界最大メーカーDJIが実演会

**世界最大**のドローン(小型無人飛行機)メーカーのDJIは3月8日、東京都あきる野市で農薬散布用ドローン「AGRAS(アグラス)MG-1」の実演会を開きました。切り返し時の安定性や薬剤の飛散(ドリフト)を抑えた散布能力などを披露しました。ドローンの世界シェア7割を占めるDJIは、同機を機に、日本の農業市場での拡大を狙います。



実演会で飛散を抑え、安定した散布を披露するドローン(3月8日、東京都あきる野市で)

「MG-1」は、10リットルの薬剤タンクを搭載し、1回10分の飛行で1畝分の散布が

可能。四つのノズルで散布幅は最大6メートル。水洗い可能な防水防塵(ぼうじん)性もあ

ります。

実演会では、小学校跡地のグラウンドを圃場に見立てて水を散布。強風時や急な切り返し操作でも、すぐに機体を水平に戻す能力や、下方向にレーザーを照射して作物からの距離を一定に保つ機能などを披露し、参加者に売り込みました。価格は約180万円。作業時の機体幅は約150センチですが、8枚の羽と、本体アームを折り畳むことで、幅が78センチまでコンパクトにできます。「軽トラの荷台はもちろんトランクにも積める」(DJI)とアピールしました。

DJI初の農業用ドローンは中国、韓国でも販売しており、日本向けには農林水産航空協会の性能認定を受けました。DJIは4月末

までに、全国30カ所に、教習施設と整備事業所を兼ねた販売代理店を設けるといいます。

### 数字でみえる 三重県の農と食

#### 資源保全活動を展開する農村集落の数

水路や農道などの生産資源の保全管理や生態系の保全、景観形成などの活動を展開する集落の数は平成27年度で916となっています(三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画平成27年度実施状況報告)。県は平成27年度、法制化された多面的機能支払交付金の普及啓発に取り組み、活動集落数は前年度より91増加しました。今後も、学校やNPOなどさまざまな主体の参画を促していくとしています。

# 916

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。





直管パイプで下部補強した柵

## 獣害防護柵の下部補強に直管パイプが有効

**農** 作物への鳥獣被害を防ぐため、三重県内ではイノシシやシカの侵入防止柵の設置が進められ

ています。近年はワイヤーメッシュ等の金属柵の設置が主流になっていますが、獣が柵の下部を押し上げる等して損傷させるため下部の補強が必要です。三重県農業研究所は、比較的安価に設置できる直管パイプによる下部補強の効果を検査し、有効であることを確認しました。

調査によって、ワイヤーメッシュの線径が同じ3.2mmでも直管パイプで補強した柵Bは、補強していない柵Aに比べて、下部損傷の箇所数が9分の1程度に抑えられていることが分かりました。表参照。

直管パイプによる下部補強の効果

柵のタイプ	調査距離(m)	損傷箇所数(100m当たり)		
		上部	下部	全体
柵A(3.2mm×下部補強無)	5,770	3.3	6.3	9.6
柵B(3.2mm×下部補強有)	5,390	2.4	0.7	3.1

お問い合わせ先 三重県農業研究所 地域連携研究課 ☎0598-42-6356

### JA一志東部

#### イチゴ目ぞろえ高温対策を徹底

JA一志東部苺(いちご)部会はこのほど、高温期対策として2016年度2回目の目ぞろえ会をJAのイチゴ集荷場で開いた。部会員や関係者ら37人が、サンプルを見ながら着色基準を統一した。JA営農指導員が生育状況や今後の栽培管理、高温期対策を説明した。部会は部員33人が「章姫」「かおり野」「ともゆき」の3品種を3.4%で栽培する。11月上旬から5月下旬までに、約120トンの出荷を見込んでいる。(2017/3/15 ワイド2東海)

### JA伊勢

#### タマネギ端境期狙う 麻加江営農組合

JA伊勢営農部営農指導課と麻加江営農組合は、中山間地域での新規品目として端境期の出荷を狙うタマネギの試験栽培を行っている。度会町の圃場(ほじょう)では2月下旬、2016年度の初収穫を迎え、約70kgを県内市場へ出荷した。今後は実証結果を基に、新規就農者や定年退職者を対象に栽培面積を拡大し、19年度には4%の作付けを目標とする。(2017/3/3 ワイド2東海)

### JA三重南紀

#### 「せとか」「不知火」タイへ 輸出好調

JA三重南紀は2月下旬、JA柑橘(かんきつ)統一選果場で、タイに輸出する中晩かん「せとか」と「不知火」の、タイと日本による合同輸出検査と出荷作業を行った。熊野市、御浜町、紀宝町で収穫された高品質ミカンの輸出量は「せとか」約1.7トン、「不知火」約0.5トンで、いずれも2Lサイズが中心。今回の輸出は2016年度で3回目。JAの筒井道夫理事長は「今後は輸出用の新施設を導入し、輸出量の増加につなげたい」と話した。(2017/3/4 県版三重)

認定農業者の方や一定の条件を満たす農業者の方に



- トラクターなど農業用機械の購入資金
- 栽培用ハウス・畜舎など農業用施設の建設資金
- 乳牛その他の家畜購入資金

明日の農業を担うみなさまへ  
JAバンクは地域農業を応援します!

## 農業近代化資金

一定の要件を満たした認定農業者の方は、JAバンク利子補給制度等により、お借入から当初5年間の実質金利負担がゼロになります。

詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。  
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/> 平成29年3月現在

### 【金利情報】平成29年3月21日現在

#### 農業近代化資金

実質金利  
年0%~0.30%  
(固定金利)

※認定農業者の方は、市町や(公財)農林水産長期金融協会の利子補給等により、お借入が可能です。

#### スーパーS資金

年1.5%  
(変動金利)